



TITLE:

静脩 Vol. 49 No. 3(2012.10) [全文]

AUTHOR(S):

---

CITATION:

静脩 Vol. 49 No. 3(2012.10) [全文]. 静脩 2012, 49(3)

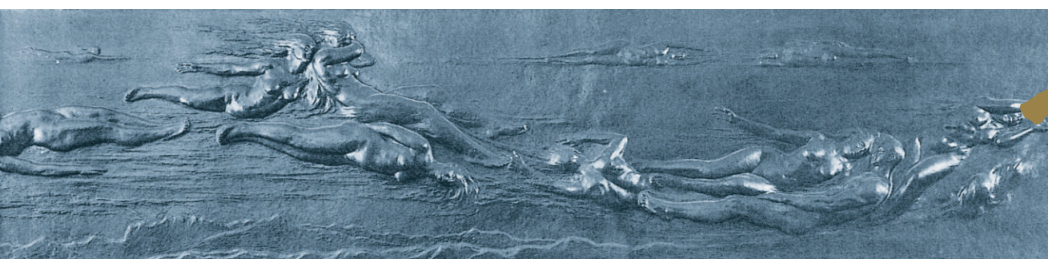
ISSUE DATE:

2012-10-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160220>

RIGHT:



2P

京都大学蔵書検索システム

KULINEが新しくなりました



3P●MyKULINEも一新

4P●一冊の本（『聖書』）

5P●KURENAIコンテンツ紹介

6～7P●こんなに使える！図書館活用法

8P●図書館・室からのお知らせ



# kuline が新しくなりました

<http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

2012年8月に図書館システムが更新されました。

京都大学蔵書検索システムKULINE（クライン）も新しく生まれ変わりました。

KULINEは京都大学のすべての図書館/室に所蔵されている図書や雑誌が検索できるデータベースです。論文や貴重書なども探せるようになりました。より使いやすく、より便利になった新KULINEの一部をご紹介します。（※この記事の情報は2012年9月1日現在のものです）

ここが新しくなりました

The screenshot shows the KULINE search interface. At the top, there's a navigation bar with tabs: 蔵書検索 (selected), 論文検索, 貴重資料画像, 他大学検索, 横断検索, and KURENAI. Below this is a search bar with the text '湯川 秀樹' and a search button. To the right of the search bar are links for 'マイフォルダとは', 'アラートとは', '検索条件を登録', and '検索アラートに登録'. Below the search bar, there's a section for '絞り込み検索' (Refinement Search) with filters for '出版年(西暦)' (2012~2008), '資料種別' (圖書 (14)), and '所蔵館' (吉田 - 附図 (7)). To the right of the filters is a table of search results. The first result is '語り継ぎたい湯川秀樹のことは：未来を過去のごとくに' by 幸田泰三, published in 2008. It has a book cover image and a link to '目次・あらすじを見る'. Below the table is a link to '続きを見る (所蔵5件)'.

蔵書検索 論文検索 貴重資料画像 他大学検索 横断検索 KURENAI

HOME 総合利用案内 学習/研究サポート よくある質問 図書館・室一覧 開館カレンダー お問い合わせ

目録検索 MyKULINE 閲覧履歴 検索履歴 English

蔵書検索 論文検索 貴重資料画像 他大学検索 横断検索 KURENAI

マイフォルダとは アラートとは  
★ 検索条件を登録  
★ 検索アラートに登録

絞り込み検索

絞り込み条件

出版年(西暦)  
2012~2008

資料種別  
圖書 (14)

所蔵館  
吉田 - 附図 (7)

書誌検索結果一覧 1件~10件 (全14件) 印刷

1 2 次へ >>

☐ 全て選択 ☐ ブックマーク ☐ 出力 ☐ メール ☐ 文献管理 タイトル昇順 10件

1  
語り継ぎたい湯川秀樹のことは：未来を過去のごとくに  
幸田泰三著. -- 丸善, 2008.  
▶ 目次・あらすじを見る

巻号	所蔵館	配置場所	請求記号	状態
	基礎研	研究棟地下書庫	A2  MUT	
	理物理	4F 書庫	B2  M  8	

▶ 続きを見る (所蔵5件)

いろんな検索が  
タブ切り替えて

検索結果の  
絞り込みが  
より簡単に、  
より詳しく

所蔵館・  
著者名・出版年・  
件名などで絞り込む

表紙画像や  
目次・内容紹介も  
表示されます



薬学研究科 准教授 伊藤 美千穂

だれもがその書名は知っているけれど、内容については実はほとんど知らない人のほうが多い—日本では聖書はそんな存在ではないでしょうか。聖書はとりもなおさずキリスト教の聖典で、宗教に深く関連するもの、と考えるので手に取り難い雰囲気があるのでしょうか、宗教に関係なくページをめくってみれば、案外読み易い書籍であると思われるかもしれません。

私は、たまたま通っていた幼稚園が聖光会(イギリス国教会の流派)系の教会が運営する園で、ここでもらった初めての「文字ばかりの分厚い本」が聖書でした。加えて、中学高等学校は神戸女学院で毎朝プロテスタント式の礼拝から始まる日々を過ごし、学科授業として“聖書の時間”というのもありましたが、特にキリスト教に帰依することを強要されるわけでもなく、この書籍の内容を読んだり暗唱したりしていました。中高生頃の記憶力に秀でた時期に覚えたいくつものフレーズやそれらの断片は、いわゆる中年のオバハンになった今でも、ふとした時に蘇ってきます。思わず、そこから考え込んだりすることもしばしばですが、年齢とともにそれなりの経験が蓄積すると、同じ言葉に対する考え方や受け止め方もこうも違うものかと、妙に納得したり、気恥ずかしく思ってみたりします。

この本には意外に多種種類の植物がとり上げられているのですが、ブドウやイチジク、ムギ類などのほか、香料の類がよく登場します。例えば、キリスト生誕の際に東方の3賢者が持参した贈り物は黄金、乳香、没薬の3品ですが、後者2つはいずれも植物樹脂性の薫香料です。またほかの物語には沈香(ヨハネ19)や、ナルド(甘松香)の香油(マタイ25; マルコ14; ヨハネ12)なども登場します。私は生薬・薬用植物に関する分野が専門領域で、これらの薫香生薬類は即ち自分の研究材料であるものが多いのですが、こんな些細なことでも見つけると、それはそれで学生と話題にして楽しめるほか、講演の際の挿話にも利用できたりします。

教養として聖書の内容を知っていて、講演の挿話に限らず雑談の中などに紛れ込ませると、海外の研究者との会話が思わず盛り上がったりしますが、私の場合はそれだけではなく、研究室の中で折に触れて師匠と議論を楽しむ材料にもなりました。大学院から師事し、その後は上司でもあった先生のご実家は西本願寺系のお寺で、先生ご自身も僧籍をもち、必要があれば袈裟に着替えて読経するという人物だったのですが、その先生がしばしば問いかけてこられたのです。「お釈迦さんはこういう時には〇〇と言わはった。ところでキリスト教ではどう言うんや。」そこから議論が始まって、どちらが正しいというのではなく、それぞれの違いを認識して終わる、というのがよくあるパターンでしたが、サイエンスの現場で師弟で宗教談義を展開しているというこのアンバランスが愉しくて、私の中では印象的な思い出のひとつになっています。

聖書に描かれる挿話や話題は、もちろん、何かの時に心の支えとでも言うべき言葉になる場合もあるでしょうけれど、教養として、まったく別な気分で読んでみると、楽しい発見があるものかもしれません。興味本位でお暇な時間に眺めてみられてはいかがでしょうか。

## 聖書



●口語訳  
(旧約聖書1955年改訳、新約聖書1954年改訳、日本聖書協会訳)  
附属図書館所蔵  
B2書庫 1-06.1 ||セ||9

●新共同訳  
附属図書館所蔵  
2F 開架 HP||13||セ6

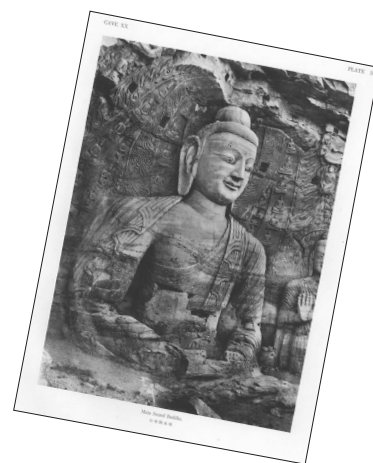
その他、附属図書館・学部研究科の図書館室に所蔵がたくさんあります

## KURENAI コンテンツ紹介

人文科学研究所の研究テーマのひとつに、中国・アジア地域の研究があります。その研究手法として、伝統的な文献研究とともにフィールド・ワークが、前身の一つである東方文化研究所の時代から重視されていました。

1936（昭和11）年、中国の響堂山石窟（河北省）と龍門石窟（河南省）において、東方文化研究所の水野清一と長廣敏雄らの手によって現地調査がおこなわれました。その研究成果は『響堂山石窟』（1937年）、『龍門石窟の研究』（1941年）としてまとめられました（どちらもKURENAIで公開しています）。引き続き1938（昭和13）年から1944（昭和19）年にかけて、雲岡石窟（山西省）においても、大規模な調査がおこなわれました。

KURENAIでは、この雲岡石窟の調査報告書『雲岡石窟：西暦五世紀における中国北部佛教窟院の考古學的調査報告』全32冊を公開しています。今回は人文科学研究所で中国考古学を研究する岡村秀典教授にご紹介いただきました。



第20洞 本尊佛座像  
（第14巻「第20洞圖版」PLATE5）

水野清一，長廣敏雄 [共著]. 雲岡石窟：西暦五世紀における中国北部佛教窟院の考古學的調査報告：東方文化研究所調査 昭和十三年～昭和二十年. 京都大學人文科學研究所雲岡刊行會, 1951～1956, (京都大學人文科學研究所研究報告)

こちらからご覧ください

<http://hdl.handle.net/2433/139069>

中国山西省にある雲岡石窟は、遊牧民の鮮卑族が北中国を支配した北魏の時代に、都の平城に近い岩山を彫りだして造った仏教寺院である。東西1 kmにわたって大小の洞窟が並ぶさまは実に壮観で、いまではユネスコの世界文化遺産に登録されている。北京に近いこともあって日本から毎年多数の観光客が訪れ、高校世界史の教科書には高さ約14mの露天大仏の写真が必ずといってよいほど掲載されているので、ご存じの方が多いと思う。

雲岡石窟は1902年に東京大学の伊東忠太がはじめて踏査して以後、日本・中国や欧米の研究者が相次いで現地を訪れたが、なにしろ壮大な石窟のこと、いずれも主要な仏像に対する限定的な調査にとどまっていた。そこで人文科学研究所の前身である東方文化研究所の水野清一と長廣敏雄は、1936年に河北・河南省にある響堂山石窟と龍門石窟を調査した経験を生かし、雲岡石窟の全面的な調査にのりだした。1938年から1944年までの7年間、研究所の内外から延べ60人ほどが参加し、大小すべての石窟を対象に測量・写真撮影・拓本が作成された。また、石窟の前面や周辺に残る建築址を発掘し、寺院全体の景観を明らかにした。これは世界に先駆けておこなわれた石窟寺院の全面的な学術調査であった。

このような調査成果は『雲岡石窟』全16巻32冊として1951年から1956年まで足かけ6年にわたって刊行された。その出版には当時の吉田茂首相とかけあって文部省から助成を受けたが、戦後の日本が国際社会に復帰したサンフランシスコ講和会議のとき、吉田首相が完成まもないその第1回配本を持参し、戦中・戦後のきびしい状況をおして進められた日本の学術研究を世界にアピールした話は、いまでも語り継がれている。この水野と長廣の業績に対して1951年には朝日賞、1952年には日本学士院賞恩賜賞が授与された。また、これを受けて京都大学では海外調査の再開を望む声が高まり、サンフランシスコ講和条約の発効とともに活発な調査が多方面で展開されていくことになったのである。（人文科学研究所 岡村秀典）



京都大学学術情報リポジトリKURENAIとは

リポジトリとは「保存庫」という意味で、京都大学の博士論文や先生方が書かれた論文、紀要などを収録して、webで世界中からアクセスできるようにしたデータベースです。

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>

京都大学学術情報リポジトリ  
**KURENAI** 紅  
Kyoto University Research Information Repository



こんなに使える！

# 図書館活用法



A君は日頃から図書館を使いこなしている京大生。そんなA君の一日を通して、勉強に役立つ、お得な図書館活用法をご紹介します



7:00 起床 朝ご飯を食べながら携帯で

大学行く前に、**返却期限**のきている本を**チェック**しておこう。大学図書館は返すのが遅れると**罰則**がついて借りられなくなるから気をつけないと。**ケータイ MyKULINE**にログインして…これは貸出更新ができるから、しておいて、これとこれは今日忘れずに返さないと、だな。

ついでに、この本が、京大にあるかどうか**ケータイ KULINE**で検索…あれ、貸出中か。**予約**をかけとこっと。

**ケータイ KULINE** <https://m.kulib.kyoto-u.ac.jp/m/>



## ケータイMyKULINE

パソコンだけでなく、携帯からも借りている本や返却期限が自宅や外出先から気軽に確認できます。図書館・室によっては返却期限の更新も可能です。

## ケータイKULINE

KULINEは携帯でも検索できます。

## 貸出中の本に予約をする

京都大学蔵書検索KULINEで検索したときに、貸出中の資料については、そのまま予約を申し込むことができます。



12:00 2限目授業終了後 人環・総人図書館へ

授業終わったー。今行ったら、食堂混んでいるよな…。ちょっと**人環・総人図書館**に寄って、**選書コーナー**でレポート書くときに役立ちそうな本、みつくろってくるか。

## 人環・総人図書館 選書コーナー

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/heslib/service/bookselection.html>

## 人環・総人図書館 選書コーナー

図書館入ってすぐの選書コーナーでは、就職活動、大学院進学・留学、論文・レポート作成に役立つ本を一ヶ所に集めています。



12:30 食堂で昼ご飯を食べながら

生協の食堂に附属図書館の**Library Service News**っておいてあるんだ。ご飯食べるついでに読んでみよ〜。今日、4限目休講だから、15時からの講習会出てみようかな…。

**Library Service News** [http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/LSN/LSN\\_back.html](http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/LSN/LSN_back.html)

## Library Service News

京都大学附属図書館が毎月出しているニュースレターです。講習会の日程や附属図書館からのお知らせなどが掲載されています。



15:00 附属図書館の講習会に参加

今回は「**論文・レポートを書くための文献収集講座**」か。ちょうど、今度レポート書かなきゃいけないから、受けてみよう。

## 講習会日程

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/piCal/index.php?&smode=&op=&cid=57>

## 京都大学図書館機構 > 学習/研究サポート > 講習会

[http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content\\_id=4](http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content_id=4)

## 附属図書館定期講習会

附属図書館では定期的に資料の探し方からデータベースの使い方まで様々な講習会を行なっています。日程はWebや Library Service Newsで確認できます。



15:30 附属図書館3階 情報端末エリアへ

さっきの講習会で習ったパソコンで見られる雑誌、**電子ジャーナル**を早速見てみよう。

**電子ジャーナル/電子ブックリスト**

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaiej.html>

確かこの3階に情報環境機構のサテライトのパソコンがあったよな。**利用状況をWebで確認**して…、まだ空きがあるみたいだし行ってみよう。

**OSL/CSL利用状況** <http://www.ecs.kyoto-u.ac.jp/oslinfo/>

この雑誌は電子ジャーナルも、冊子も京大にないのか。**CiNii Books**で他大学が持っていないか調べてみよう。遠かったらコピーを取り寄せしないといけないけど…。

**CiNii Books** <http://ci.nii.ac.jp/books/>

あ、わりと近くのA大学にあるから直接行ってコピーとってこよう。**他大学図書館への紹介状発行**を申し込んでくか。

**他大学図書館への紹介状発行申込み**

[http://www2.kulib.kyoto-u.ac.jp/form/?page\\_id=125](http://www2.kulib.kyoto-u.ac.jp/form/?page_id=125)



18:00 学習室24で自習開始

よし、いっちょ、気合入れて勉強しますか。**時間を気にせず自習**できるし。

その前に、小腹が空いたから、ここでちょっと**甘いものを食べて**糖분을補給補給。よしっ、頑張るぞ〜。

**学習室24** [http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/guide/jpn/guide\\_jp\\_studyroom24.html](http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/guide/jpn/guide_jp_studyroom24.html)



23:00 帰宅

今日は随分と勉強がはかどったな〜。

あ！しまった、『万葉集』借りるのを忘れた。そう言えば古典の本って**電子ブック**で読めるって聞いたことがあるな。自宅のパソコンで**PPTP接続**して、と。あ、小学館の日本古典文学全集シリーズが読めるぞ。ふう〜、セーフ。

**学外から電子リソースを使う** <http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/er-remote.html>

**京都大学で利用できる主な電子ブック** <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/ebook/>

#### 電子ジャーナル

パソコンで見ることができる学術雑誌です。USBメモリに保存したり、印刷したりすることができます。この他、パソコンで読める電子ブックも京大では多く契約しています。

#### 附属図書館3F情報端末エリアOSL/CSL利用状況

附属図書館の3階には情報環境機構のサテライト＝情報端末エリアがあり、インターネットの閲覧やレポートの作成ができます。Webでパソコンの空き状況が確認できます。

#### CiNii Books サイニィブックス

全国の他大学図書館等の図書や雑誌の所蔵が調べられます。



#### 他大学図書館所蔵資料の利用

他大学図書館を利用するには事前に申込が必要です。直接訪問する場合は、附属図書館ではWebからの申込が可能です。余裕を持って、訪問予定の一週間前には手続きをはじめましょう。また、遠方より郵送等で論文のコピーを取り寄せる有料のILL(アイエルエル)サービスもあります。

#### 学習室24

学習室24は早朝、深夜も使える自習室です。開室時間の詳細はWebでご確認ください。

#### 学習室24 なごみ

なごみでは、飲食が可能です。

#### 自宅から電子ブック等を見る PPTP接続設定

ほとんどの電子ジャーナルや電子ブック、データベースは、設定すれば、自宅からでも利用可能です。





## 図書館・室からのお知らせ

### BookBingoを実施しました (人環・総人図書館)

学生みなさんに当館の蔵書の幅広さを実感し、一層利用していただくことを目的とし、6月1日～8月10日にかけて「BookBingo」を実施しました。これは、館内でビンゴカードを配布し、借り出された図書の請求記号(図書の背ラベルに記載された数字など)に応じてスタンプを押し、一列そろえば特典の「貸出冊数+1(プラスワン)」券を差し上げるといったものです。

期間中に220枚のビンゴカードを配布し、18名の方がビンゴを達成されました。すでに「貸出冊数+1(プラスワン)」券を利用した方もおられます。たくさんのご参加、ありがとうございました。

また、ビンゴを達成されたみなさんには、感想を一言ご記入いただきました。「日頃は見ない棚も見られる機会になった」「どの分野にも自身に重要な本があるのを発見しました」「いろんな本が借りられて楽しかった」など、うれしいコメントをたくさんいただきました。

人環・総人図書館では後期にも同様の企画を予定しています。ぜひ楽しんでご参加いただければ幸いです。



### 耐震改修のため、仮移転しています

京都大学では順次、建物を耐震化しています。現在、次の図書室が耐震改修のため仮移転しています。図書室の場所やサービス内容に変更がありますので、ご利用に際しては事前に十分にご確認ください(どちらの図書室も移転先図書室には閲覧スペースがありません)。

#### ○工学研究科 吉田電気系図書室

場 所 工学部11号館1階

期 間 2012年9月～2013年3月(予定)

\*利用できる資料に制限がありますので、事前にKULINEでご確認ください。

<http://www.s-ee.t.kyoto-u.ac.jp/ja/library>

#### ○経済研究所図書室

場 所 経済研究所北館2階 N201号室

(経済研究所本館の北側、尊攘堂の南側)

期 間 2012年8月30日～2013年3月(予定)

\*利用を希望する資料がある場合は、利用希望日の前日の午前中までに、メールかFAXでお名前・書名をお知らせください。

TEL:075-753-7109 FAX:075-753-7190

e-mail: lib@kier.kyoto-u.ac.jp

<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/~library/>



### また、次の図書室は、耐震改修のため閉室しています

#### ○人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター図書閲覧室

事務室移転先 人文科学研究所本館

閉室期間 2012年5月16日(水)～ (再開時期未定)

\*事務室のみ移転しており、図書室は閉室しています。

雑誌は一部、人文科学研究所(本館)図書室にてご利用いただけます。事前にお問い合わせください。

<http://www.kita.zinbun.kyoto-u.ac.jp/library/>

仮移転先図書室(事務室)  
[吉田キャンパス本部構内]